

The Hidden Gems Project Vol. 1

中園理沙 ピアノリサイタル

Lisa
Nakazono
Piano
Recital

～静謐なる光～

歴史に埋もれた名曲が
悠久の時を経て今ここに甦る

ブルーメンフェルト:
海辺にて Op. 38 No. 1
Blumenfeld: Près de l'eau Op. 38 No. 1

リャードフ: 舟歌 Op. 44
Lyadov: Barcarolle Op. 44

アンティポフ: 夜想曲 Op. 12
Antipow: Nocturne Op. 12

レシェティツキ: 慰め Op. 40 No. 2
Leschetizky: Consolation Op. 40 No. 2

ボルトキエヴィチ: 練習曲 Op. 15 No. 1
Bortkiewicz: Etude Op. 15 No. 1

サン＝サーンス＝ゴドフスキー: 白鳥
Saint-Saëns = Godowsky: Le Cygne

アレンスキー: 練習曲 Op. 74 No. 2
Arensky: Etude Op. 74 No. 2

エルランジェ: アルバムのページ
Erlanger: Album Leaf

スクリャービン: 前奏曲 Op. 15 No. 1
Scriabin: Prelude Op. 15 No. 1

カトゥール: 前奏曲 Op. 10 No. 2 他
Catoire: Prelude Op. 10 No. 2, etc.

※都合により予告なく曲目が変更になる場合があります。

2026 11.18 ◆水
19:00 開演 (18:30 開場)

パルテノン多摩 小ホール
京王線、小田急線、多摩モノレール
多摩センター駅 徒歩7分

Wed 18 Nov 2026
19:00 | Parthenon Tama

- 一般 4,000円 [税込] – 全席自由
- 学生 2,000円 [税込]

※ 未就学児の入場はご遠慮ください

※ 公演中止の場合を除き、
ご予約、ご購入後の
チケットの払い戻し、変更、
キャンセルはお受けしていません。

KAZELFA

主催: KAZELFA株式会社 後援: 多摩市
Organizer: KAZELFA Corporation Supported by Tama City, Tokyo

チケット購入

KAZELFA e+ イープラス

パルテノン多摩
チケット販売

受付時間 10:00 - 19:00
(休館日を除く毎日)

公式ウェブサイト

中園理沙 ピアノリサイタル 検索



The Hidden
Gems
Project
~In Awe of Beauty~
LISA NAKAZONO

お問合せ KAZELFA株式会社
TEL: 042-372-8860
info@kazelfacorp.com

中園理沙 プロフィール

4歳よりピアノを始め、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。これまでに日本、ポーランド、オーストリア、チェコ、中国、台湾、韓国にて演奏を行い、国際コンクールの審査員を日本、台湾、マレーシアで務める。
第1回エレナ・リヒテル国際ピアノコンクール第1位、第23回かながわ音楽コンクールシニアピアノ部門第2位をはじめとする数々のコンクールで入賞。2005年、海外マスタークラス派遣オーディションに最優秀の成績で合格(東京国際芸術協会主催)し、ロシア国立モスクワ音楽院に派遣される。2008年、桐朋学園大学音楽学部在学中より『リサのきらめきクラシックス』シリーズで演奏活動を開始し好評を博す。
大学4年次にレコード会社(株式会社Aniplex)よりスカウトされ、CDデビューが決定。
2009年3月、桐朋学園大学音楽学部卒業と同時にアルバム「ショパンdeジブリ」(販売:ソニーミュージック)でCDデビュー。以後2年間、約100公演のコンサート活動をこなし、音楽誌、テレビ、ラジオ等のメディアにも多数出演。
2009年に出演したフレッシュ・アーティストfromヨコスカリサイタルシリーズでは、「豊かな表現力で注目を集める若き才媛」と評された。
2010年1月、2ndアルバムとなる「ショパンde星に願いを」をリリース。また、同年にはテレビ東京系アニメ“世紀末オカルト学院”の劇中で使われるクラシックピアノ曲『ラ・カンパネラ』『ワルトシュタイン』の演奏者に抜擢され収録を担当。その他、音楽誌“極上のピアノ”の連載を執筆。また、ヤマハ株式会社制作の自動演奏付きグランドピアノ“ディスクラピア”の演奏者にも抜擢され、13曲を収録した。
2010年、ヤマハ株式会社との企画でショパン生誕200年記念コンサートを、2011年にはリスト生誕200年記念コンサートを日本各地で行う。
2012年及び2013年、『仙台クラシックフェスティバル』に出演。
また、同年(2013年)にはポーランドのマゾフシェで開催されたショパンフェスティバルに招待されソロリサイタルを行い、その模様が現地マゾフシェTVで放映された。また、同国の首都ワルシャワでもソロリサイタルを行う。
2014年にはポーランド・ワルシャワ、及びオーストリア・ウィーンでソロリサイタルを行い、2015年に在日チェコ商工会議所の文化担当官に任命され、国際文化交流に尽力する。2017年、松本ピアノフェスティバルに出演。また、長野県にて上田アンサンブル・オーケストラとベートーヴェンのピアノ協奏曲“皇帝”を共演。同年8月、チェコ・プラハにてソロリサイタルを行う。
2018年には中国・北京にてソロリサイタル、及びピアノマスタークラスの講師を務め好評を博す。同年9月、韓国にて中国のサクソフォニストと共演。
2019年～2021年、台湾で開催された卓越盃国際音楽公開賽コンクールの審査員を務める。
2024年、ゴールドスター国際音楽コンクール日本予選審査員、並びにマレーシア本選(Grand Final)の審査員を務める。
これまでにピアノを川染雅嗣、下田幸二、朴久玲、ソルフェージュを石原真の各氏に師事。

リサイタルに寄せて

「花に鳴く鶯(うぐひす)、水に住む蛙(かはづ)の声を聞けば、生きとし生けるものいづれか歌をよまざりける」
ー これは私の胸に深く刻まれている古今和歌集の一節です。
「生きとし生けるものは全て歌を詠んでいる」と謳った、この平安時代の風雅な和歌が脳裏に浮かんだのは、鶯のさえずりに耳を澄ませていた朝未きのことでした。
世界がゆっくりと目覚め、空が柔らかに色づき始めるこの神秘的で静謐なる時間に響き渡った鶯のさえずりは、何と美しかったことでしょうか。実に清らかで澄んでいて、それは「歌詠み鳥」(上の古今和歌集の一節から付けられた鶯の別称)そのものでした。
歌詠み鳥の余情をたたえた空間に佇み、日の出のやさしい曙色を眺めながら和歌を味わっていた私は「ああ、生きとし生けるものは全て歌を詠んでいるのだ。世界の全ての命、存在が音楽を奏でているのだ。そして全ては調和している。この世界観をピアノで表現したい。」という想いが静かに、熱く、そして確固たるものとして自身の内奥から湧き上がるのを感じたのです。
そして次の瞬間に「世界にはまだ日の目を見ていない作曲家、歴史の中で人々の記憶からいつの間にか忘れ去られてしまった小さな宝石のような曲が、数多く存在するのではないか。それらを世界の人々に届けてゆきたい。」という考えが、まるで天啓を得たかのように降りてきました。
この一連の体験から生まれたものが“The Hidden Gems Project”です。“Hidden Gem”とは隠れた宝石を意味する言葉であり、正に歴史に埋もれた作曲家、名曲を発掘し光を当ててゆくプロジェクトとなります。これは、今後の私の音楽家人生を懸けた、活動の中核を成すものとなるでしょう。
その皮切りとなる今回のリサイタルでは、作曲家の魂に誠実に寄り添い、丁寧に音を紡いでゆき、最後に全体を通してその本質が浮かび上がるような演奏をしたいと思っています。
“生きとし生けるものいづれか歌をよまざりける”ー 楽譜に書かれた全ての音に命が宿り、全てのフレーズが歌を詠んでいるかのように。そして、生きとし生けるもの全ての命が調和して一つの世界を創造しているように。
それでは皆様、是非会場で時を超えた空間にそっと身を委ねてみて下さい。
歴史に埋もれた作曲家の魂が再び温かく息づく瞬間、隠れた珠玉の名曲が静謐なる光を放つ瞬間を、皆様と分かち合えますことを心より願っております。

中園理沙

リサ・ナカゾノ(中園理沙)のリサイタルに寄せて

私達の多くにとって、“Gems” = “宝石”、“珠玉”は並外れた美しさの象徴であり、希少で貴重、そして往々にして手の届かない存在です。しかし、「The Hidden Gems Project」を通じて、この美しさは私たち一人ひとりの身近なものとなります。
ピアノ音楽は、私達を結びつける共通の絆であり、共有する情熱です。それは国境や宗教、文化を超越し、音楽という普遍的な言語を通じて人々を一つに結びつけます。
こうした「隠れた宝石」を探し求める中で、再発見され演奏される忘れ去られた楽曲の一つひとつが、音楽そのもののだけでなく、作曲家やその物語、そしてそれを取り巻く歴史にも新たな命を吹き込みます。
この素晴らしいプロジェクトにおいて、私の親愛なる友人であり、真の妹とも言えるリサ・ナカゾノ(中園理沙)と共に活動できることは、光栄であり、また特権でもあります。ピアノへの共通の愛が私達を結びつけましたが、リサ・ナカゾノはあらゆる演奏に心と魂を注ぎ込む、稀有なピアニストの一人です。彼女の音楽は単に「聴く」だけのものではなく、深く「感じる」ものです。
私は50年近くにわたり、ピアノの修復に人生を捧げ、忘れ去られ放置された楽器に新たな命を吹き込んできました。その過程で、私は大切な家族の思い出を蘇らせる手助けもしてきました。これらの美しいピアノが再び歌い出し、「隠れた名曲」の新たな演奏の「声」となることを可能にできたのです。
リサ・ナカゾノはそれぞれのピアノに命を吹き込みます。彼女の卓越したタッチと美しい音色により楽器を覚醒させ、真に歌わせるのです。
ピアノ音楽の隠れた宝石を発掘するというこの素晴らしいアイディアは、私達全員にインスピレーションを与え豊かにしてくれることでしょう。

“The Hidden Gems Project”はリサ・ナカゾノが私達一人ひとりに贈る愛の贈り物です。彼女の心の深遠から生まれた私達への贈り物です。
この素晴らしいプロジェクトが、私の妹であるリサ・ナカゾノにとって大成功を収めることを願っています。そして、このプロジェクトが世界中の聴衆に喜びとインスピレーション、そしてピアノ音楽へのより深い理解をもたらし続けますように。
これらの「隠れた宝石」を世界と分かち合うことで、私たちは音楽的遺産を守り、私たち全員の生活を豊かにすることができます。

フィリップ・シモンズ - ピアノ修復専門技術士、The Hidden Gems Project オーストラリア支部長

